

安城の歴史を現代に伝える情報誌

れきしみち

JAPANESE DENMARK

2025.4
No.136

特集 2頁 企画展

デンマーク

日本丁抹と呼ばれた時代 - 100年前の碧海地域と農業 -



主要目次

- 収藏品紹介「河野小唄―河野の茄子苗作り―」……………4頁
- 万葉花ごよみ・春の催し物案内……………6頁
- 展覧会関連イベント・さとのマルシェ……………7頁
- さと会員募集・市民ギャラリーよりお知らせ……………8頁



右上：安城梨ラベル／左上：三河西瓜ラベル
右下：碧海郡産業組合連合会会館「安城エハガキ」
左下：河野小唄パンフレット

安城市歴史博物館

れきしみち No.136 令和7年4月発行 編集・発行 安城市歴史博物館

(指定管理者：安祥文化のさと地域運営共同体)

安城市歴史博物館 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30 番地 TEL: 0566-77-6655



令和7年度

安祥文化のさと会員

大募集!

情報誌のお届けや割引などの特典がいっぱい!

さと会員の 特典はスゴイ!



特典

- 1 情報誌「れきしみち」を年4回お届け!
- 2 歴史博物館の有料展示観覧料が2割引!
- 3 歴史博物館の常設展観覧料が年間通じて無料!
- 4 さとてらすのお食事・ドリンク500円分割引!
- 5 会員限定「さとスタンプラリー」にチャレンジ
スタンプ数に応じた景品をプレゼント!

会費
600円

入会 について

【入会受付】令和7年4月1日(火)～
【支払方法】歴史博物館受付お振込みの2通り。詳細はお問合せください。

安城市民ギャラリーよりお知らせ

特別展 「絵画から見る日本デンマークの時代～愛知近代美術の表現者たち～」

安城市を中心とした碧海郡は、大正時代末期から昭和初期にかけて「日本デンマーク」と呼ばれました。今回の特別展では、安城市が「日本デンマーク」と呼ばれた時代に注目し、どのような絵画が描かれたのかをご紹介します。

【開催期間】令和7年6月27日(金)～8月1日(金)
【休館日】月曜日 ※7月21日(月)は開館
【会場】市民ギャラリー展示室A・B・C
【観覧料】300円(中学生以下無料)



大澤鉦一郎《夏の風景》

企画展「安祥文化のさと写生作品展」

安祥文化のさと写生コンテストの作品を展示します。(写生コンテストは4月26日(土)～5月25日(日)に募集します)

【開催期間】令和7年6月25日(水)～7月6日(日)
【休館日】月曜日
【会場】市民ギャラリー展示室D・E
【観覧料】無料



安祥文化のさと

「安祥文化のさと」とは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

【全館共通事項】

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)

安城市歴史博物館 開館時間 / 9:00～17:00
TEL: 0566-77-6655 FAX: 0566-77-6600

安城市民ギャラリー 開館時間 / 9:00～17:00
TEL: 0566-77-6853 FAX: 0566-77-4491

安城市埋蔵文化財センター 開館時間 / 9:00～17:00
TEL: 0566-77-4477 FAX: 0566-77-6600

安祥公民館 開館時間 / 9:00～21:00
TEL: 0566-77-5070 FAX: 0566-77-6062

公式HP、SNSもご覧ください

安城市歴史博物館

URL / <https://ansyobunka.jp/>



JAPANESE DENMARK

企画展

デンマーク

日本丁抹

と呼ばれた時代

—100年前の碧海地域と農業—

大正末期から昭和初期にかけて、碧海郡は農業先進地として注目されました。碧海郡は現在の碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市の全域と岡崎市・豊田市・西尾市の一部にあたります。大正期にはデンマークは農業・農村の理想の国として取り上げられており、それになぞらえて、碧海郡は日本デンマークと呼ばれるようになります。特に、市域は碧海郡の中心地として発展しました。

今回の企画展では、本館収蔵資料を中心に、明治中期から昭和初期の碧海地域の農業の発展を紹介いたします。

一 農業発展の礎

明治十二年(一八七九)一月から十七年末にかけて、明治用水が通水すると、新しく農耕地として開発される土地ができるなどの変化が起こりました。そのため地元住民だけでなく、県内外からの移住者もその役目を担いました。しかし、開墾した後の土地の生産力を高めるため、肥料を大量に投入する必要がありました。特に移住者たちは少ない資産の中で肥料費用を捻出せねばならず、大きな負担となりました。

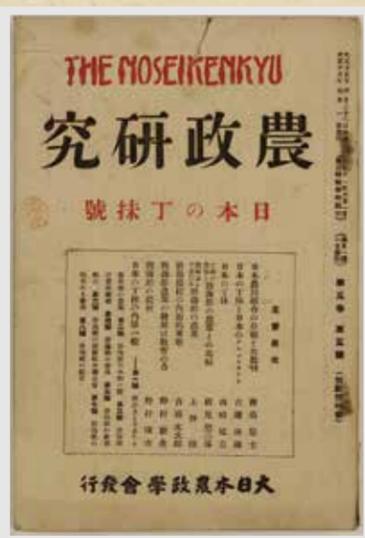
明治二十年から四十四年のうち米の作付面積は四八パーセントも増加しており、小麦の作付面積も八六パーセントの増加がみられます。さらに、米の生産高も明治二十年から四十四年までの間で二・二六倍増加し、碧海郡は県内最大の米産地となりました。

明治三十年代には鶏卵・野菜・果実などの農畜産物が作られるようになり、三十年代後半卒業した後の教育の場として農業補習学校が普及しており、その学習内容は全国的にも高い水準にありました。

三 日本デンマークの社会的背景

大正中期から昭和初期に碧海地域が日本デンマークと呼ばれるようになることには、当時の社会的背景も深く関係しています。大正期以降大都市が形成され、市場で商品作物の需要が高まったことにより、収入を増やすことのできる蔬菜・果実・鶏卵の生産も増加していきます。さらに、東海道線安城駅から農作物を東京方面へ発送したり、道路網の整備によって商業作物の流通も活発化していきました。

当時、デンマークは協同組合をつくり農業の共同化をはかり、酪農・養鶏を取り入れ、農業教育の普及によって小国ながら豊かな国家となつたと紹介されていました。このデンマークの農業と先進的だった碧海郡の農業が重ねられ、日本デンマークと呼ばれるようになりました。農政ジャーナリストが発刊した『農政研究』の大正十五年五月「日本の



『農政研究 日本の丁抹号』(本館蔵)

にはこれらの作物の作付面積や生産高が急増しました。絵葉書にもみられるように、養鶏は農家の副業として碧海郡農会を中心に推奨されました。これらはのちに多角形農業といわれ、日本デンマークの特徴として注目されるようになります。



副業としての養鶏 [農業絵葉書] (本館蔵)

二 農業の理想郷 日本デンマーク

大正期に入ると碧海郡の農業は注目を集め、次第に新聞や雑誌で取り上げられるようになっていきます。

大正中期から昭和初期にかけて、農業生産の多角化が進展しました。多角形農業は、副業による利益の増進や農産物の価格低下へのリスク分散、様々な作物をつくることにより年間を通じて労働することができると、推奨されていました。それに伴い、今村、箕輪村、依佐美村などの西瓜、矢作町河野の茄子苗、安城町の梨など、生産作物の特徴が地域ごとにみられるようになります。

こうした商業作物の生産を支えたのが養鶏組「丁抹号」では碧海郡の農業が全国に大々的に論じられました。農業団体や産業組合、養鶏をはじめとする多角的な農業や教育の状況が特集されています。

一方で、明治末期から大正期にかけて全国で農村からの人口流出が問題となり、日本デンマークと呼ばれた碧海郡も例外ではありませんでした。そうした状況の中で、農業技術や農業経営の改善・改良によって農村振興を進めるべきであるという動きもみられ、学校や指導機関、青年団などで農事講習会や講話会などの農業・農村教育が行われました。

農業・農村が厳しい状況の中、先進的な取り組みが成果を上げていた碧海地域には全国的に視察者が訪れました。視察記の中でも碧海郡の事例をみて、農村社会の発展の可能性を期待している様子がうかがえます。日本デンマークという言葉には農業・農村を経済的に豊かにし、豊かに暮らせる場への願望も込められていました。

碧海地域の農業は、明治用水の通水後、農耕地の開拓や改良が行われ、明治後期には生産高の向上がみられるようになりました。その後、農業経営の変化や農業団体・組合による共同化、そして農村教育の成果によって大きく発展し、碧海郡は「日本デンマーク」と呼ばれるようになりました。その過程には複数の社会的背景があります。

何気なく耳にする「日本デンマーク」。この機会に二〇〇年前の碧海地域の様子をご覧くださいましたら幸いです。

(文責:本部はる香)

令和七年

四月十九日(土)

六月二十九日(日)

観覧無料

【休館日】毎週月曜日

※五月五日は開館

【開館時間】九時～十七時

※入館は十六時半まで



安城梨ラベル (本館蔵)

合・農業組合などの産業組合でした。組合では、作物の共同販売によって利益を増やし、肥料・飼料の共同購入などを行い支出を抑えることができました。また、産業組合は農家への農業経営や土地購入資金を借すなど、金融機関としての役割も担っていました。農家は農業経営のために積極的に組合に参加しました。鶏卵に至っては碧海郡購買販売組合連合会(通称「丸碧」)を通じて委託販売によってさらに利益増進を図ることができ、東京市場で「丸碧鶏卵」という銘柄で確固たる地位を築きました。そして昭和十年(一九三三)には組合によって初めて設立された病院である更生病院が創立しました。

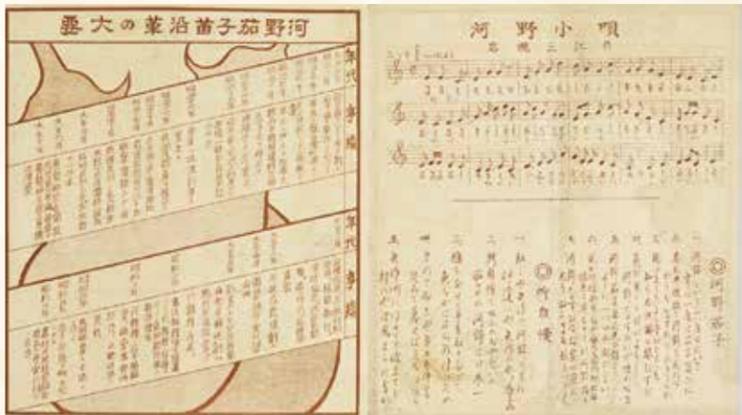
また、農業の発展には指導機関の影響もありました。安城には明治三十四年に愛知県立農林学校が創立され、三十六年に愛知県農事試験場種芸部の設置後、大正九年(一九二〇)には本場が清洲から移されるなど、農業関係機関が存在しました。農事試験場の技師による講話や指導が行われ、農業生産の改良にも大きな影響を与えました。行政が主導する郡農会や町村農会、農家経済に直接関係していた産業組合も研究会や講話会を開催し、農家が知識を得る機会が多くありました。さらに、尋常小学校や高等小学校を

収蔵品 紹介

河野小唄 —河野の茄子苗作り—

河野よいとこ一度はおいて
年に一度は茄子買ひに
美矢井橋出て河野を見れば
かうもなすびがあるものか
開けましたよなすびでさへも
知らぬ他国と縁むすび
色が黒うて形がようて
河野なすびにや味がある

河野茄子苗大夫で強て
千に一つの無駄がない
見かけばかりぢや実意が知れぬ
植ゑて見なされ河野茄子
河野なすびはお家の栄え
丸うおさまる長うつゞく



「河野小唄」のリーフレット内側

昭和四年(一九二九)三月に発表された河野小唄。出だしの「河野よいとこ一度はおいで 年に一度は茄子買ひに」はどこかで聞いたことがあるようなフレーズです。茄子が名物のような歌い出しですが、これは河野(市内河野町)で作られている茄子苗を歌ったものです。この歌を作ったのは、岩槻三江でした。三江は愛知県農事試験場の技師で、稲の神様といわれた岩槻信治のことです。三江とは信治のペンネーム(号)でした。当館の収蔵品に河野小唄を載せたリーフレットがあります。発行年は不明ですが、この中にある河野茄子苗の沿革の最後が昭和六年とあることから、昭和初期のものと考えられます。今回はこのリーフレットを通して、河野で作られていた茄子苗について紹介します。

リーフレットは巻き四つ折りのもので、表紙には大正末期から昭和初期に流行したウェーブをかけた耳隠しの髪型の女性と白抜きの茄子が描かれ、「河野小唄」とあります。リーフレットを開くと右側には河野小唄の楽譜と歌詞、左側には河野茄子苗沿革が記されています。歌詞は河野茄子と所自慢の二種類書かれています。「美矢井橋出て河野を見れば かうもなすびがあるものか」と続く河野小唄にあるように、昭和初期の河野は茄子苗作りが盛んでした。当時の河野は碧海郡矢作町にあたり、河野の東はすぐ矢作川の美矢井橋が架かっていました。集落は五〇戸に満たない程でした。現

苗の改善の必要性が求められ、河野において研究会を起し、毎月一回一日午後七時に尾崎技手の出張を仰いだといえます。そして大正十年九月、規約十か条を制定して園芸組合を設立しました。これを機に河野茄子の品種改良が始まります。農事試験場育成の橘田茄子を原種として採種圃を設けました。橘田茄子は愛知県で古くから作られていた茄子です。また茄子品評会を開催して優良苗の育成に努めます。大正十二年には茄子の半促成栽培を試み、成功しました。半促成とは、温床苗床や移植などの早作りの後、露地で育てることをいいます。大正十四年には園芸組合は河野農事改良実行組合と合併し、園芸部として継続しました。大正十五年には愛知県内の視察を行い、その後遠隔地にはトラックで運搬して額田郡細川(岡崎市)・九久平・拳母(共に豊田市)で茄子苗出張販売を行いました。茄子苗には生産者の名前が記され、組合は茄子苗を保証するという責任証を苗と共に渡しました。この移動販売については郡農会の技手や矢作町農会の副会長から援助と指導を受けたとされます。

リーフレットの中で「二代交配河野茄子苗」という言葉がみえます。日本では明治末期にメンデルの法則が伝えられ、稲の人工交配が始まります。岩槻信治がこの技術を取得し、稲の品種改良に取り組み、多くの品種開発に成功しました。大正十三年、河野の杉山亮作は岩槻信治に茄子の人工交配による二代雑種(二代交配)を作成することを相談します。茄子の二代雑種は同年に埼玉農事試験場によって始まったばかりでした。河野では大正十五年に試験を行い、橘田茄子に四種類の茄子をかけあわせました。さらに昭和二年(一九二七)、愛知県農事試験場清洲分場の鈴木技手より指導を受けました。橘田茄子に博多改良真黒茄子をか

在も集落として大きく変わることはなく農業用ハウスが多く立ち並び、苗や葉物野菜が盛んに作られています。

河野茄子の始まりは幕末の頃でした。早作りの茄子苗がきっかけとなり、茄子作りが広まりました。その後、茄子を作るよりも良い茄子苗を作ることが大事であるとして、苗床の改良が始まりました。また種子の発芽促進のために、油紙で包んだ種子を懐に入れ、体温で温めることも奨励されました。そして茄子苗の成長に必要な



「河野小唄」のリーフレット

けあわせた二代雑種は品質もよく、昭和三年にはこの茄子苗の販売を行います。翌年にはさらに改良を重ねました。

リーフレットは、河野茄子苗を多くの人に知ってもらい、購入してもらうため、河野へ訪れてもらえるように作られたものと思われます。そのため県内はもちろんのこと、全国各地からも来訪できるように国鉄の時刻表や知立・安城・河野・土呂間乗合自動車時刻表が掲載されています。共存共栄を掲げ、個人よりも共同取引を優先して分譲すると宣伝しています。予約申込所は河野ではなく、碧海郡農会と矢作町農会でした。

日本の茄子の栽培は、古くから盛んに行われ、各地に名のある茄子が生まれました。促成栽培も江戸時代からあり、油障子などを使用して温かい環境で育てることが推奨されてきました。決して河野茄子苗が全国的に名の知られたものでも、大量生産されたものではありませんでしたが、郡農会や農事試験場の技師や技手の指導を受け、最先端の二代雑種の苗まで成功し、生産を飛躍的に伸ばしていったのです。

大正から昭和初期にかけて、碧海郡には農業視察として全国から関係者が訪れていました。碧海郡が日本デンマークと呼ばれた頃にもあたります。視察地には愛知県農事試験場や安城農林学校があげられる中、その二つに組合設立から間もない河野農事改良実行組合(その後河野農村共同経営組合に合併)は茄子苗の育成が特徴として掲載されています。小さな集落だった河野は、茄子苗の育成のために組合を立ち上げ、全国から訪れる視察地として名をあげられるようになりました。

(文責…水谷令子)

な日照と保温のために油障子を使うようになりまし
た。油障子とは、ビニールハウスが登場するまで用いら
れていたもので、障子型の木枠に油紙を貼ったものでし
た。河野では濡れた雨傘を晴れた日に乾かそうとさし
ている時に思い付き、相談した傘屋により作られた油障
子を使用したとされています。ただし、苗床に油障子を
使用した例は河野に限らず、当時各地で行われていた
ものでした。京都ではすでに天保年間に油障子の茄子
の育苗法が開発されていました。

その後、蔬菜の需要が高まり、河野茄子苗は少しず
つ栽培面積を広げていきました。大正九年(一九二〇)
には、碧海郡農会の技手尾崎五平治により河野茄子



更生病院医業開始ポスター

企画展

デンマーク

日本丁抹

と呼ばれた時代 - 100年前の碧海地域と農業 -



副業としての養鶏(農業絵葉書)

関連イベント

記念講演会

「日本デンマーク」に込められたもの - 人が豊かに生きる場としての農村をつくる

[日時] 5月17日(土)14:00~
 [講師] 岡田洋司氏(元愛知学泉大学教授) [定員] 60名
 [申込] あいち電子申請・届出システム・往復はがきにて受付(抽選)
 ※往復はがきの場合は、イベント名、氏名、郵便番号、住所、電話番号を明記し、往復はがきにて安城市歴史博物館まで郵送。※はがき1枚につき1名申込となります。



[申込期間] 4月1日(火)~4月19日(土)
 往復はがきでの申込は、4月19日(土)必着

関連イベント

日本デンマーククイズに挑戦! 参加無料

日本デンマークのクイズラリーに挑戦しよう!

オリジナルボードゲーム 「日本丁抹」で遊ぼう! 参加無料

歴史博物館オリジナルボードゲーム『日本丁抹』で遊ぼう!

[日時] 4月19日(土)~6月29日(日)
 [場所] 歴史博物館エントランスホール

昔のレシピを再現! 「丁抹うどん」を作ろう!

昔のレシピを元に、卵を練り込んだ丁抹うどんを作ります。

[日時] 5月31日(土)10:00~12:00
 [講師] 杉浦ひろ子氏(安城エプロン会)
 [場所] 歴史博物館体験学習室
 [参加費] 500円/1組
 [定員] 12組(事前申込み先着順)
 [申込] 5月10日(土)9:00~電話受付



ボードゲーム 「日本丁抹」体験会 参加無料

展示に関連した歴史博物館オリジナルボードゲーム体験会を開催します!

[日時] 4月27日(日)・6月8日(日)①10:00~②14:00~
 [場所] 歴史博物館エントランスホール
 [定員] 各12名(事前申込み先着順)
 [申込] 4月8日(火) 9:00~専用フォームにて申込

参加無料



日本デンマークのお座敷文化 レクチャーコンサート 安城芸妓とお座敷唄の会

日本デンマークのお座敷文化と安城民謡のレクチャー、そして安城芸妓衆によるお座敷遊びの体験を行います。

[日時] 6月15日(日)
 [出演] ①14:00~14:50 ②15:10~16:00
 [場所] 安城芸妓衆、太田明紗日氏(三味線奏者)
 [参加費] 歴史博物館講座室
 [定員] 300円
 [申込] 各25名(事前申込み先着順) 5月25日(日)9:00~電話受付



さとのマルシェ 10:00~15:00 [会場] 安祥城址公園 ※雨天中止

4/26(土)

こども・楽しい・マルシェ

手づくり体験ができるブースが6店舗出店! 鯉のぼりに絵を描く体験もできます!

5/25(日)

日本デンマーク100年記念! 安城ゆかりマルシェ

安城にゆかりのある歴史ある企業、学校、市民活動団体、飲食、雑貨店舗が出店!

6/22(日)

子どもと家族の青空写真撮影会

同時開催イベント「子どもと家族の青空写真撮影会」を開催!



※定員数・開催方法や日時・内容等を変更する場合があります。最新情報はHPにてご確認ください。

申込み・問合せ 歴史博物館 TEL:0566-77-6655

万葉 花ごよみ

その六 一(つじ)



安祥城址公園に咲く万葉集ゆかりの花や植物たちを紹介していきます。

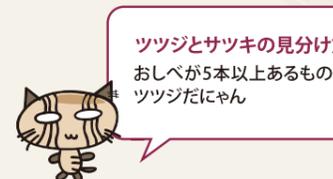
初夏の庭木や生垣を彩る花につじがあります。昔から日本人に愛されている花で、江戸時代には多くの品種改良が行われ、たくさんの種類のつじが生まれました。つじとよく似た花にさつきがあります。さつきもつじの仲間ですが、花や葉がつじより小さいのが特徴です。また、四〜五月頃に咲くつじに対して、さつきは五〜六月頃に咲き、二か月程つじより遅いです。そのため俳句ではつじは春の、さつきは夏の季語とされています。万葉集には、つじを詠んだ歌がありますが、つじとさつきの区別は不明で、岩つじ、白つじ等がみえます。岩つじはさつきではないかともいわれています。つじの漢字は躑躅と書き、躑躅する意味や羊がつじの毒でひざまづく意味ともいわれています。これはつじの花に含まれる有毒成分によるものともいわれています。ただ万葉集の中のつじには、この躑躅の字はまだ使われていませんでした。

風早の美保の浦みの白つじ

見れどもさぶしき亡き人思へば (河辺宮人)

「風吹く美保の浦に咲いている白つじをみれば、亡き人のことを思うと寂しいものだ」

美保の浦は、一説に三尾海岸(和歌山県日高郡美浜町)といわれています。美保の浦で亡くなった若い女性をみて哀しみ、四首詠った内の一首とされます。白つじを若く美しい女性にたとえています。



ツツジとサツキの見分け方
おしべが5本以上あるものがツツジだにゃん

万葉集にみえるつじは、花々が咲き誇る美しさと共に、美しい若者をあらわしているようです。この二首は共につじを通して、若くして亡くなった人を偲んでいる様子が見えます。このことは、和歌において「つじ花」という言葉が「にほふ(匂う)」「の枕詞になつてのことからもうかがえます。現代では音から匂うと臭うとして、好ましくない香りを連想しがちです。しかし、古典の匂うは、美しく輝く、光り輝くよう、美しく染まるというような意味です。つじが如何に美しい花の象徴だったのか感じられます。安城市歴史博物館には鯉のいる池近くの石畳の植え込みや県道七八号線から駐車場へ入つてすぐの生垣につじが植えられています。花盛りの際にはお立ち寄り下さい。

水伝う磯の浦みの岩つじ

茂く咲く道をまた見むかも (日並皇子宮舎人)

「水の流れる池のきわに岩つじがたくさん咲いているこの道を、いつかまたみる事ができるのだろうか」

日並皇子とは天武天皇と皇后との一人息子である草壁皇子をさします。天武天皇亡き後、皇位を継ぐことを期待されていましたが、二七歳の若さで亡くなりました。この歌は皇子が亡くなつてから周忌の間に皇子に仕えていた舎人達が皇子を偲んで詠んだ歌二四首の一つになります。舎人とは皇族等に仕えていた者をさします。もう岩つじをみることはないだろうと皇子との別れを惜しんでいます。

春の催し物案内

ミニ鯉のぼり染め体験



伝統的な鯉のぼりと同じ木綿布と染料を使い、ミニ鯉のぼりの染色を体験できます。

[日時] 4月19日(土)10:00~12:00
 [講師] 渡辺健一郎氏・古川智氏 (ワタナベ鯉のぼり株式会社)
 [定員] 20名(事前申込み先着順)
 [場所] 歴史博物館 体験学習室
 [参加費] 3,000円
 [申込] 4月6日(日)9:00~電話受付

鎧の試着会



鎧の試着会をおこないます。甲冑をつけ、刀を持って、気分は戦国武将! 写真撮影もできます。

[日時] 5月3日(土・祝)・4日(日・祝) 5日(月・祝)10:00~15:00
 [定員] 1日15組まで (先着順・1組最大5人までの試着可能)
 [場所] エントランスホール
 [申込] 4月12日(土)9:00~電話受付

歴史を楽しく学べるカードゲーム 「Hi!story(ハイスト)体験会&自由対戦会」



[日時] 5月18日(日)①10:00~11:15 ②13:00~14:15、③15:00~16:15
 [定員] 各回20名
 [参加費] 300円(オリジナルカードセット付)
 [場所] 歴史博物館講座室
 [協力] 株式会社Highsto
 [申込] 5月6日(火)9:00~専用フォームにて申込